



2025年4月11日

各位

会社名 ARアドバンステクノロジー株式会社
代表者名 代表取締役社長 武内 寿憲
(コード番号 5578、東証グロース市場)
問合せ先 取締役執行役員 竹内 康修
(TEL. 03-6450-6082)

2025年8月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2024年10月11日に公表いたしました2025年8月期第2四半期(中間期)の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 2025年8月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異(2024年9月1日~2025年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,508	百万円 49	百万円 32	百万円 3	円 銭 0.90
実績値(B)	6,563	272	272	84	25.47
増減額(B-A)	1,056	223	239	81	24.56
増減率(%)	19.2	453.0	743.6	2,689.0	2,720.9
(ご参考)前期第2四半期実績 (2024年8月期第2四半期)	5,471	217	222	134	40.96

2. 差異の理由

売上高は、IT投資環境の後押しを受けて継続的に伸長しており、さらに、当社は2024年11月29日付で株式会社ピー・アール・オーを子会社化いたしました。この結果、同社及びその子会社3社が連結対象に加わり、売上高の増加に寄与しました。そのため、前回発表予想を上回りました。なお、子会社化による連結業績への反映は、2025年8月期第3四半期からの予定を見直し、第2四半期からとしております。

営業利益及び経常利益は、高付加価値案件へのシフトなどによる粗利率向上に引き続き取り組んだ結果、順調に売上総利益を確保しました。また、収益基盤の強化を目的とした積極的な販管費投資を継続する一方で、支出のコントロールを徹底し、無駄なコスト削減施策を実施したことにより、前回発表予想を上回りました。なお、子会社化に伴う費用負担が先行しており、現在のところ、利益貢献はあまり大きくありません。今後、当社グループに迎え入れたシナジー効果が本格化し、事業部門の連携強化や間接業務の最適化等を通じて、中長期的な収益性の向上が期待されます。

親会社株主に帰属する中間純利益は、自社開発プロダクトの収益獲得が当初の想定を下回り、固定資産の減損損失19百万円を計上したこと等により、利益改善は限定的な結果となりました。

なお、2025年8月期の連結業績予想につきましては、2024年10月11日に公表しました通期の業績予想に変更はありません。株式会社ピー・アール・オーの子会社化による業績予想に与える影響については現在精査中であり、判明次第速やかにお知らせいたします。

以上